

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園整備事業
環境影響評価方法書に関する検討事項一覧

この資料は本件に関して、審査会から横浜市に提出される答申の内容を検討するための資料です。これまでの調査審議の内容を確認し、下表の項目・検討事項・内容を元に答申案を作成します。

■事業計画について

項目	検討事項	内容
事業計画	事業計画の詳細について	予測の前提条件となる施設の位置や規模、公園利用者の園内動線を明確にし、より詳細に準備書に記載すること。 (指摘事項 A-14 他)
	生態系保全に配慮した施設配置計画について	土地区画整理事業で新たに創出する生物の生息環境を含む対象事業実施区域内の生態系保全と、本事業で設置する施設や災害時の活用エリアとが両立するよう施設配置計画を検討し、準備書にその考え方を記載すること。 (指摘事項 A-12 、 A-17 、 A-20 、 A-21 、 A-24 、 A-27 、 A-28)
	地上式調整池における配慮について	対象事業実施区域の東側に設置される計画である地上式調整池（調整池4）について、周辺にホトケドジョウが確認されていることから、それら保全対象とすべき生物に配慮した位置、構造等を検討し、具体的に準備書に記載すること。 (指摘事項 A-3 、 A-4 、 A-25)
	樹林地の保全について	対象事業実施区域の東側に保全する樹林地については、動物への影響を少なくするため、動物にとって重要な林縁部を生かして、人との距離が確保されるよう適切な維持管理も含めて、検討すること。 (指摘事項 A-1 、 A-2 、 A-6)

■環境影響評価項目について

【工事中及び供用時】

評価項目	検討事項	内容
水循環	湧水の流量について	対象事業実施区域内の和泉川源流域に加え、その周辺の伏流水を含む湧水の流量等も把握し、本事業による和泉川への影響についても適切に調査、予測、評価を行うこと。 (指摘事項 3-1 、 3-2 、 3-7)

【工事中】

評価項目	検討事項	内容
温室効果ガス	項目の選定について	工事期間が約20年と長期に及ぶことから、項目として選定すること。 (指摘事項 1-1～1-3)
生物多様性		
廃棄物・建設発生土		
大気質		
騒音		
振動		
地域社会	工事用車両の出入口について	一次整備工事時は、土地区画整理事業実施区域内の仮設道路を使用する計画であることから、本事業の対象事業実施区域の出入口だけでなく、土地区画整理事業実施区域における出入口も準備書で示すこと。 (指摘事項 8-6)
触れ合い活動の場		

【供用時】

評価項目	検討事項	内容
温室効果ガス	項目の選定について	施設は定常的に使用されるものであり、その規模も不明確であることから、項目として選定すること。 (指摘事項 1-1)
生物多様性		
廃棄物・建設発生土		
大気質		
騒音		
振動		
地域社会	エリア間の道路の往来について	「みどりの賑わい・レクリエーションエリア」と「みどりの発信エリア」の間に道路が計画されていることから、このエリア間の公園利用者の往来方法について、準備書に記載すること。 (指摘事項 8-2、8-3)
	交通混雑の予測地点について	対象事業実施区域の東側周辺において、来園車両等の走行に伴う交通混雑の影響を適切に予測するため、走行ルート沿道の主要交差点に予測地点を設定すること。 (指摘事項 8-5)
景観	事業実施区域内からの景観の変化について	「みどりの実践エリア及び発信エリア」に設置する施設の存在により圍繞景観の変化があることから、対象事業実施区域内からの景観についても調査、予測、評価を行うこと。 (指摘事項 9-1～9-3)
触れ合い活動の場		